

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム梅の木

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 3 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の言動や行動、表情から思いや意向把握して、全職員がすぐ見てわかる個別記録にはいたっていない。	・利用者の思いや意向の新たな気づきを日々のかかわりに活かす。 ・その方らしく暮らし続ける。 ・生活意欲の維持向上を図る。	・利用者の言動や表情を把握する。 ・言動や表情から利用者の思いや意向を「心身の情報」紙に書き込む。 ・情報を共有する。 ・職員間で情報共有し、日々のケアに活かす。	6ヶ月
2	35	災害対策について	近隣の住民に参加してもらい、防災訓練を実施できる。又福祉避難所としての役割を理解してもらえる。	・年2回の火災、災害避難訓練に近隣の住民や区長、民生委員に参加してもらい消防士立会いで消化器の使用方法について体験する。 ・地震 風水害 火災発生時の対応マニュアルを職員間で共有する。	12ヶ月
3	4	運営推進会議に関して	率直な意見や要望を受け止め活かし、運営に反映させる。	・地域住民(駐在警察官 郵便局員 区長)に参加していただけるよう依頼していく。 ・地域行事や催しに参加し信頼関係を築く。	12ヶ月
4					
5					